

「河川技術・流域管理分野 提案型課題(地域課題)」  
(令和4年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
気候変動後の流量発生分布を考慮した砂州の波高増大・固定化リスクの評価手法の提案	広島大学 井上 卓也	A
<p>&lt;研究概要&gt;</p> <p>本研究では、河岸被災の増加や樹林化による流下能力不足を招く、砂州の波高増大・固定化(いわゆる河道の二極化)の発生リスクを把握するために、実験・計算などの力学的手法から算定した流量-砂州波高成長率の関係と、現在及び気候変動後の大量アンサンブル降雨-流出解析データを用いた新たな評価手法を提案すると共に、砂州波高増大の抑制手法の分析、抑制対策必要区間の抽出など、河道計画に資する技術・知見を得るものである。</p>		
<p>&lt;事後評価コメント&gt;</p> <p>A評価のためコメントなし</p>		

※評価基準

A:研究目的は達成され、十分な研究成果があった。

B:一定の研究成果があった。

C:研究成果があったとは言い難い。